

## 排水路の大沈砂池を浚渫



水路に降りるにもはしごか脚立の必要な大沈砂池

毎年水路清掃で敬遠される沈砂池の浚渫作業。中でも配水側の最後の沈砂池は大きさ、深さそれに水路から農道までの高さなどから、ここ数年完全な浚渫はできないままになっています。

当会ではこの沈砂池の方法も問題がありました。掘り上げた汚泥をどうするか、大きな問題です。また、共同作業でやる際にはその作業のきつさから「人力では無理」との声も少なくありませんでした。そこで、業者に作業を委託してはどうかという案が持ち上がりました。日程的にも5月の一斉清掃でやることだけを考える必要はないのではないか、

への対応を検討してきました。

水と一緒にポンプでくみ上げるという方法、あるいは専用のバケットを作成してそれをフォークリフトなどで持ち上げる方法などを考えてきました。

しかし、ど

この際可能な時に施工してはどうかということになりました。

私たちは前例や、従来の方法にとらわれがちです。しかし考えてみれば、やれる時に、専門家にお問い合わせの方法は、良い方法だと考えています。

今回は有限会社中国建設工業にお願いすることになりました。水路の水を別の経路でかわし、汚泥を掘り出すというルールに従った正式な手順で行われます。

## 頑張れデゴイチ (D51)

SLやまぐち号は、私たちにとてもなじみ深い観光列車ですが、昨年からは新しい仲間D51が加わりました。JR山口線は、坂道が厳しく馬力の小さいC56では客車が引つ張れないということで、デゴイチの登場となりました。関係者の話では、車軸にいくらか問題があつて、昨年来いろいろ対策をしてきたとのことでした。



上郷駅を通過するD51 (デゴイチ) 3月25日

## 草焼きバーナーの活用を



十分な余熱が絶対必要

水路の法面などの雑草処理は、崩落の危険性があるために除草剤の使用ができません。刈り取るのが一般的な方法ですが、事情が許せば強力な炎で処理する方法もあります。灯油バーナーを2台導入しました。

平成30年度八方原自治会役員

|        |       |          |       |
|--------|-------|----------|-------|
| 自治会長   | 原田 茂樹 | 老人会会計    | 原田 温子 |
| 公民館長   | 国重 正悟 | 地区宮総代    | 石田 義博 |
| 会計役    | 西尾 幸爾 | 交通委員     | 末田 和宏 |
| 会計監査   | 本田 昇  | 交通委員     | 杉山 良明 |
| 会計監査   | 原田 哲夫 | 子供会会長    | 藤山 雄平 |
| 体育部長   | 原田 広文 | 子供会副会長   | 黒瀬 禅  |
| 体育副部長  | 原田千佐子 | 母子保健推進員  | 本田 二美 |
| 衛生部長   | 國田 宏  | 福祉委員     | 松井 和子 |
| 衛生副部長  | 中村 丈二 | 墓地管理委員   | 片山 静市 |
| 消防組組頭  | 林 郁博  | 防犯連絡員    | 矢部 彰  |
| 消防組副組頭 | 中村 丈二 | 防火管理責任者  | 原田 哲夫 |
| 民生委員   | 黒瀬 克子 | 共同募金推進委員 | 自治会長  |
| 老人会会長  | 片山 静市 |          |       |

※網掛けが改選役職、太字が新任役員

平成30年度八方原自治会の役員が決定・地域づくり行事への寄付金の個別集金の廃止

平成30年度の新役員が決まりました。3月11日の定期総会で提案され、満場一致で承認されました。

今回の役員選出については、振興会議のメンバーを中心に2月から2回の会議を開きました。特に会計役については候補者を会議に招いて、ご事情をお聞きしながら、選考を進め、そこでの結論を総会で提案したものです。子供会は会長副会長とも新しい人が着任されました。防犯連絡員、母子保健推進員につい

ては、他機関との連携の関係上、総会までに推薦が必要になることから、自治会長が個別にお願いして快諾を頂いたところです。

また地域づくり行事への寄付金について、自治会費から一括して支払うことが提案され、了承されました。

公民館掃除についての回数削減が提案されましたが、従来通りの毎月1回という結果になりました。

今年一年、地区の舵取りをお願いします。

平成30年度 八方原自治会総会のご案内

平成29年度の決算と事業報告、本年度の予算と事業計画についての自治会総会を下記の通り行います。ご参集ください。自治会の回覧その他でご案内、欠席の方の委任状などの配布を行いますので、ご協力お願いします。

記

【日時】平成30年4月15日(日) 午後7時より

【場所】八方原公民館

【問い合わせ先】自治会長 原田茂樹 090-3375-5384



涙をこらえながらの講演

どんな時でも「希望」があれば生きられる

「たくましい小郡の子育成協議会」は地域交流センターを中心に活動をしています。毎年この時期に「教育特別講演会」を開催します。今年は病氣と闘う子どもたちの希望を叶える活動をしている「Make a wish Japan」の永井啓子さんを招いての講演でした。

非常に厳しい状況にありながら、

しつかり前を見て生きようとする4人の子どもたちのストーリーを聞くことができました。

「希望が生きる力になる、その希望がかなえられたら次の希望が湧いてくる。彼らはけつして弱くて哀れな存在ではないのですよ。強く生きようとするその力にいつも感動しています。」と永井さんは語りました。

素晴らしいお話でしたが、参加者が少し寂しかったです。もつと多くの人に聞いてほしい内容でした。

まっすぐな畝にきれいに伸びた麦



麦が一気に伸び始めました。冬の寒さに耐えて、じつと我慢してきたのでしよう。

農業法人ではこれから防除などお世話が大忙しですよ。